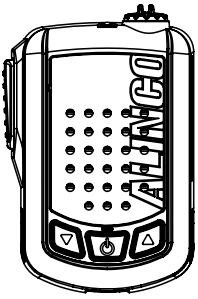
> **重要：** 本機を使用するには専用スマートフォンアプリが必要です。お使いのスマートフォンに予めインストールしてください。
> 専用アプリの使用方法、本機接続方法は、専用アプリの操作マニュアルをお読みください。

Bluetooth®スピーカーマイク（無線アプリ専用オプション）
総務省技術基準適合品Bluetooth Module XE1134内蔵

EMS-87W

取扱説明書

EMS-87Wをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるため、この取扱説明書を最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので、本書は必ず保管してください。また保証書、補足シートや正誤表が入っている場合は合わせて保管してください。本機は総務省技術基準適合品モジュール(XE1134)を内蔵しています。なお、本製品は弊社の無線アプリ専用です。本機にて電話の通話ができますが、スマートフォン用の汎用スピーカーマイクや他社の無線アプリ用として設計されたものではありません。動作保証も致しかねます。

本機は日本国内専用モデルです。海外では規格と電波行政の違いから使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店　〒103-0027　東京都中央区日本橋2丁目3番4号　日本橋プラザビル14階　TEL.03-3278-5888
名古屋支店　〒460-0002　名古屋市中区丸の内1丁目10番19号　サンエイビル4階　TEL.052-212-0541
大阪支店　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号　淀屋橋ダイビル13階　TEL.06-7636-2361
福岡営業所　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号　エコービル2階　TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル　0120　0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間/10：00～17：00月曜～金曜（祝祭日及び12：00～13：00は除きます）
ホームページ　https://www.alinco.co.jp/　>事業案内>電子事業部　をご覧ください。
製品のカタログは無償で郵送します。弊社HPのお問い合わせフォーム、または最寄りの営業拠点にお電話でご依頼ください。

PS0992S
FNFF-NH

アフターサービスについて

◎ **保証と保証書**
修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店との間の契約が優先されますのでご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。
記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

◎ **保証期間が過ぎたら**
お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理いたします。
アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ　電子　FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

◎ **製造終了製品に対する保守年限に関して**
弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。
補修部品の保有期間は、生産終了後5年です。

◎ **注意事項**
- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 内蔵しているリチウムイオンバッテリーは消耗品です。詳しくは本書の「本機内蔵バッテリー（リチウムイオンバッテリー）の特性と寿命について」をご参照ください。

安全上のご注意

◎ 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、**次の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

＊重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、後遺症が残ったりするものを指します。
＊傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
＊物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

●天災や人災及び弊社の責任以外の火災、本機の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本機を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●本機の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた純粋経済損害、また人命救助などを目的とした通信に本機を使用し、通信の途絶、故障や誤動作、バッテリーの消耗などにより人命に関わる事態が生じても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●弊社が関与していない接続機器との組合わせによる誤動作などから生じた損害は、一切の責任を負いません。

■ 共通（本体/内蔵バッテリー/充電スタンド/ACアダプター）

⚠危険

◎ **引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。**
爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。

⚠警告

◎ **雷鳴が聞こえたときには、落雷のおそれがありますので、本体、充電スタンド、ACアダプターには触れないでください。**
感電の原因になります。
◎ **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
- 指定以外の機器を充電しないでください。
- 指定以外の充電スタンドを使用しないでください。
- 指定以外のACアダプターを接続しないでください。

◎ **万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。**
継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、充電スタンドをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き、煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または、弊社サービスセンターにご連絡ください。

⚠注意

◎ **季節を問わず、直射日光の当たる場所や炎天下の車内、空調機器の吹き出し口など、温度が高くなる場所には置かないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
◎ **ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
◎ **小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電やけがの原因になります。

■ 本体

⚠警告

◎ **電子機器の近く、特に医療・介護関連施設内など携帯電話の使用が禁止されている場所では絶対に使用しないでください。**
電波障害により機器が誤動作すると、人命にかかわります。そのような施設内では電源を切ってください。
◎ **自動車の車内で使用すると、電波障害により車載電子機器が誤作動することがあります。安全な場所で誤作動しないことをご確認の上、ご使用ください。（特に自動操縦・ブレーキのような安全にかかわる装置が正常に動作することをご確認ください。）**
交通事故の原因となります。
◎ **運転中はハンズフリー通話以外には使用しないでください。**
運転中の操作は交通事故の原因となります。

⚠注意

◎ **大きな音量で長時間使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因となります。
◎ **本機をズボンなどのポケットに入れたまま、椅子などに座らないでください。**
無理な力が加わり、内蔵のバッテリーが破損し発火、発熱、けがの原因となります。
◎ **本機の定格温度を必ず守ってご使用ください。**
定格外の温度範囲などで使用した場合、故障の原因となることがあります。
◎ **本機の端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続したりしないでください。**
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

■ 充電スタンド

⚠警告

◎ **充電スタンドに水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは使用しないでください。**
火災、発熱、感電、やけどの原因となります。
◎ **充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。**
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

⚠注意

◎ **次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障、充電不良の原因になります。**
- 0℃～＋45℃以外の環境で充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACアダプター（または、電源コード）をコンセントから抜いてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。
- 水のかかるところ（調理台のそばなど）では使用しないでください。

■ ACアダプター

⚠警告

◎ **ぬれた手で電源プラグに絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。
◎ **ACアダプターや接続ケーブルにキズがある場合（芯線の露出、断線など）や、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**
火災、感電、故障、データの消失、破損の原因となります。
◎ **コード類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、コード類の上には重いものを載せないでください。**
火災、感電、故障の原因となります。
◎ **ACアダプターを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。**
火災、感電、やけどの原因となります。

⚠注意

◎ **次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。**
- 0℃～＋45℃以外の環境で使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 接続機器を使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。
- ACアダプターをタコ足配線状態に接続して使用しないでください。

■ 内蔵バッテリー（リチウムイオンバッテリー）

⚠危険

◎ **火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置は絶対にしないでください。**
バッテリーの性能や寿命が低下、保護回路が動作して充電できなくなったり、保護回路が破損したりして破裂、発煙、発火や火災、液漏れ、やけどの原因になります。

⚠警告

◎ **指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。**
充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
◎ **コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
◎ **購入時に比べ運用時間が極端に短くなったときは、バッテリーの寿命です。**
使用をつづけると、発煙や発火の原因となります。
◎ **使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。**
使用をつづけると、バッテリーの破裂、発熱、液漏れ、故障の原因となります。
◎ **満充電になった直後に再充電をしないでください。**
繰り返し行うと過充電となり、バッテリーの破裂、発熱、液漏れ、劣化の原因となります。

⚠注意

◎ **次の項目を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、やけどの原因になります。**
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。

◎ **次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。**
- バッテリーを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。長期間バッテリーを保管する場合は、バッテリーを完全に使い切った状態から1時間程度充電した後、保管してください。
- 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

本機内蔵バッテリー（リチウムイオンバッテリー）の特性と寿命について

◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品です。
充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどリチウムイオンバッテリーに異常があると思われたときは、使用を中止してください。
◎ 使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。
劣化がはじまると、満充電状態からでも運用時間が短くなります。
◎ 劣化したリチウムイオンバッテリーは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。
◎ 充電が完了しても運用時間が極端に短くなったときは寿命です。
本機の性能を十分に活用するためにも、3年を目安、長くても5年以内にバッテリー交換してください。

バッテリーの交換と廃棄について

- 本機の内蔵バッテリーはユーザーが交換できるものではありません。本機は分解しないでください。販売店にご相談いただくか、本書の「アフターサービスについて」をご参照のうえ弊社サービスセンターにご相談ください。
- 廃棄の際はお住まいの地域のリチウムポリマーバッテリー、リチウムイオンバッテリー内蔵機器の廃棄処理ルールに従ってください。

電波干渉について

本機のBluetooth機能を使用するときは、以下の内容についてご注意ください。
Bluetoothに使用される2.4GHz帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。
◎ 本機のBluetooth機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、2.4GHz帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
◎ 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電源を切ってください。
◎ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など、お困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。
◎ 電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

2.4GHz現品表示記号の意味について

2.4FH1

「2.4」　：2.4GHz帯を使用する無線設備
「FH」　：FHSS方式
「1」　：想定干渉距離が10m以下
「---」　：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

電波法について

◎ 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けたモジュールが内蔵された製品です。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。モジュールには右のラベルが貼られています。
◎ 本体、モジュールに貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
●機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。
●ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。
●ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。本法無線局開設の幇助に該当するためですのでご了承ください。
◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。
◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。

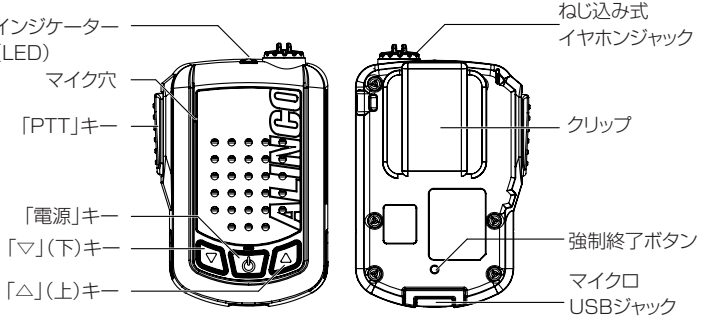
Bluetoothの登録商標/著作権について

Bluetoothのワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

外郭保護性能について

付属の防水キャップまたは弊社指定の純正防水型アクセサリーを本体に装着することで、IP67 相当の耐塵防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、すべての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早く拭き取り、よく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

各部の名称

■ 本体

注意 ・マイク穴にシール類を貼り付けないでください。音声を拾わなくなります。

名称	機能
「PTT」キー	専用アプリ使用時の送信ボタンです。無線機用語で送信ボタンをPTTと言います。 ※専用アプリで使用するにはBLE接続が必要です。 ※電話の場合、このキーを使わず通話できます。
「電源」キー	(電源オフのとき)長押しで電源を入れます。 更に長押しでペアリングモードになります。 (電源オンのとき)長押しで電源を切ります。 専用アプリでの通話中に押すと、通話を終了します。 本機と接続しているスマートフォンに電話がかかってきたとき、押すと応答できます。再度押すと通話を終了します。
「△」(上)キー	受信音量を上げます。
「▽」(下)キー	受信音量を下げます。
強制終了ボタン	本機を強制終了します。

付属品と取り付け方

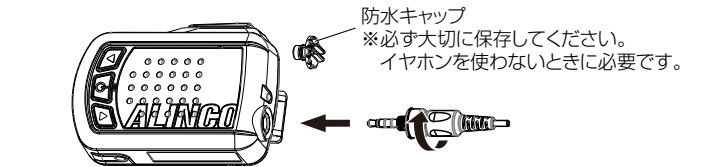
□本体 EMS-87W
□充電用USBケーブル EDS-37
□保証書
□取扱説明書(本書)
□クリップ(取り付け済) BH0069S

クリップの取り付け、取り外し

本機のクリップは出荷状態で取り付け済みです。
取り外すときはクリップを図の①を押しながら②の向きに引っ張ります。取り付けるときはクリップを図の向きで本体に挿入します。
※製造番号は本機裏右下の銘板ラベルに記載しております。
※クリップのスペア(BH0069S)は販売店でお求めください。

注意 イラストの位置にあるシールは絶対に剥がしたり、このシールを覆うように別のシールを貼ったりしないでください。浸水や音質不良など故障の原因になります。

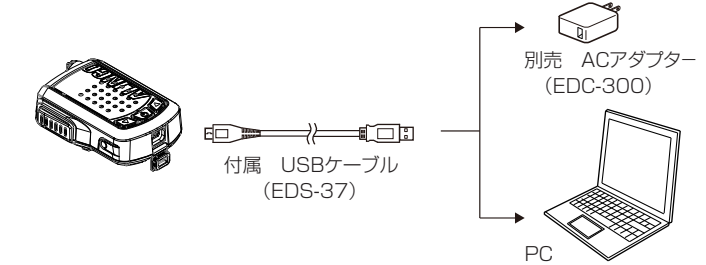
イヤホンを接続する(オプション機能):対応するイヤホンは弊社HPをご覧ください。

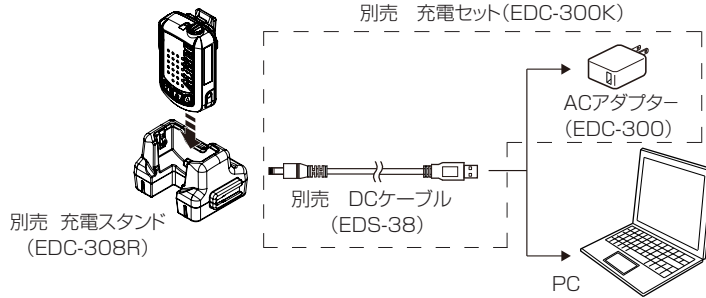
突起部分にコインなどを当て、反時計方向(左)に回して防水キャップを外します。外したキャップは必ず保存してください。イヤホンのプラグをジャックに差し込み、時計方向(右)に回転が止まるまでねじ込んでください。差し込むだけでは動作しません。取り外すときは反時計方向(左)に回してください。

注意
・イヤホンプラグを取り外す際はイヤホンプラグの胴部分を指で持って、ゆっくり反時計方向に回して引き抜いてください。コードを引っ張るとコードの消耗を早めるばかりでなく、故障の原因になりますので絶対にお止めください。
・ご購入直後の初期不良以外、イヤホンプラグ、ジャックやケーブルの破損は保証の対象外となりますので充分ご注意ください。
・弊社純正以外のオプション品を接続しての不具合は、製品保証の対象外となりますので充分ご注意ください。また弊社は一切の責任を負うものではありません。
・イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがありますが自然現象です。
・アクセサリーを使わないときは防水キャップをしっかりと装着してください。装着が不十分だと防水性能が発揮されなかったり、異物が本機内部に入りやすくなったりして故障の原因になります。

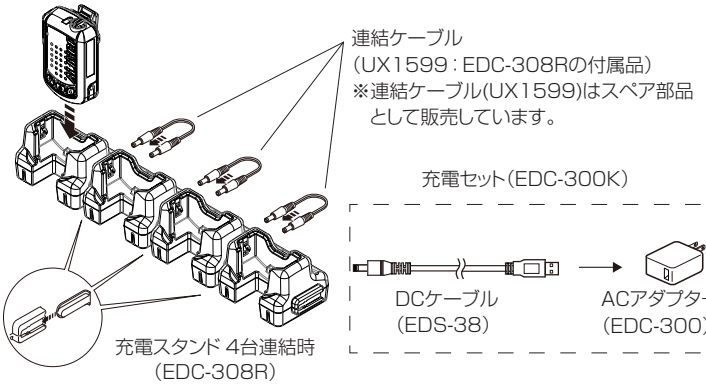
■内蔵バッテリーを充電する

注意
・EDC-308Rは充電スタンドです。充電以外の目的で使用しないでください。
・充電スタンドに本機を挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
・本機は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電にしてからご使用ください。
・弊社の充電スタンドは対応する弊社製品専用です。
・本機を充電スタンドのポケットに挿入すると、自動で電源オフになるため、充電中は使用できません。
・リチウムイオンバッテリーは定格電圧 (50%充電程度) での保存が推奨されています。特にバッテリーが減ったまま保存すると数カ月で充電できなくなることがありますので、定期的に通電して補充電するメンテナンスをおこなってください。
・充電中は本機を揺らしたり、無駄な抜き差しを繰り返したりしないでください。充電電圧が正しく検出されず、本機の充電状態を示すインジケーターが適切に動作しなかったり、途中でも充電動作を終了することがあります。

● USBケーブル(EDS-37)

①本機のマイクロUSBジャックのキャップをあけます。
②USBケーブルのマイクロUSBプラグ側を本機に接続します。
③USBケーブルのUSBプラグ側をACアダプターまたはPCに接続します。
④ACアダプターを使用する際は、ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター0.5A以上)
⑤充電が開始され赤色インジケーターが点灯します。
⑥充電が完了すると緑色インジケーターが点灯します。

●別売EDC-308R(1台充電)

①DCケーブルのDCプラグ側を充電スタンド背面にあるいずれかのジャックに接続します。
②DCケーブルのUSBプラグ側をACアダプターまたはPCに接続します。
③ACアダプターを使用する際はACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター0.5A以上)
④本機のマイクロUSBジャックのキャップをしめます。
⑤本機をEDC-308Rのポケットに図の向きで挿入します。
⑥充電が開始され赤色インジケーターが点灯します。
⑦充電が完了すると緑色インジケーターが点灯します。

● EDC-308R(連結充電)

①EDC-308Rどうしを連結します。(最大4台連結)
②充電スタンド背面のジャックに連結ケーブルを接続します。
③DCケーブルのDCプラグ側を端の充電スタンド背面のジャックに接続します。
④DCケーブルのUSBプラグ側をACアダプターに接続します。
⑤ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター2A以上)
⑥本機をEDC-308Rのポケットに図の向きで挿入します。
⑦充電が開始され赤色インジケーターが点灯します。
⑧充電が完了すると緑色インジケーターが点灯します。

充電時間と運用時間

・充電時間:放電状態の内蔵バッテリーを約3時間で満充電できます。
・充電温度範囲:0℃~+45℃ この範囲以外では正しく充電できません。
・運用時間の目安:満充電から約12時間(弊社規定の条件にて)
運用時間は使用環境、特にスピーカーの音量設定で大きく変わります。

注意 本機は待機電流が流れるため電源オフでも内蔵バッテリーを放電させます。月単位で使わないときはインジケーターが赤色点滅するまで放電してから1時間程度補充電して、25℃程度の乾燥した暗所で保管してください。また2カ月をめどに同様の補充電を行ってください。

インジケーター表示について

インジケーター表示	機能
緑色1秒点灯	電源オン/オフ
赤色1回点滅	ペアリング完了
緑色早い点滅	ペアリングモード
緑色早い2回点滅	未接続状態
緑色遅い点滅	接続状態/待受状態
赤色点灯	充電中
緑色点灯	満充電
赤色点滅	減電池状態

操作説明

キー操作について

本書中、「押す」は押した後、すぐに離すことを指します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。「長く押す」「長押しする」は機能が動作するまで押し続けることを指します。

電源を入れる/電源を切る

「電源」キーを長押しすると、「電源オン」とアナウンスがあり、電源が入ります。
電源が入っている状態で「電源」キーを長押しすると、「電源オフ」とアナウンスがあり、電源が切れます。

スマートフォンとの接続(ペアリング)と専用アプリとの接続(BLE接続)

本機を使用する前にスマートフォンとの接続(ペアリング)を行います。次に「PTT」キーを有効にして送信ができるようにするために専用アプリとBLE(Bluetooth Low Energy)接続を行います。
本製品をペアリングモードにした後のBLE接続方法は専用アプリの取扱説明書をお読みください。

※ペアリング機器が見つからない状態が5分続いたときは、電源が切れます。

ペアリングモードの入り方

ペアリング情報の入っていない状態で電源を入れると自動的にペアリングモードになります。
一度ペアリングした後に再度ペアリングモードに入るには、電源を切った状態で「電源」キーを長押しします。電源が入っても、「ペアリング中です」とアナウンスが聞こえるまで「電源」キーを押し続けてください。
※ペアリング情報は1つしか保持出来ません。上書きすると古いペアリング情報は破棄されます。

ペアリング情報の初期化

電源を切った状態で「電源」キー、「△」キー、「▽」キーを同時に長押しして、電源が入った後もそのまま「電源」キーを5秒ほど押し続けます。電話の通話中のような「ツーツー」音と「ペアリング中です」のアナウンスが聞こえたら「電源」キーを離します。

受信音量を調整する

「△」キーを押すと音量が大きく、「▽」キーを押すと音量が小さくなります。
0~15までの16段階変更できます。

音声を受信する/送信する

スマートフォンと接続していると通話の音声を聞くことができます。アプリとBLE接続していると「PTT」キーが有効になり音声を送ることもできます。
・受信:スマートフォンと接続していれば音声は受信できます。本機を操作する必要はありません。
・送信:本機の「PTT」キーを押すと音声を送信します。話している間は「PTT」キーを押し続けます。

注意 専用スマートフォンアプリの「PTTホールドスイッチ」はオフにしてお使いください。オンにして使うとハウリング(大きな雑音)が生じることがあります。

定格

表示名称	AL-EMS87W-M****** (M******は銘板ラベルに記載)
適合規格	Bluetooth Ver4.2準拠
送信出力	Class1
対応プロファイル	HFP
通話距離(通常時)	10m
最大ペアリング数	1台
外形寸法	56(W) x 88(H) x 26.2(D) mm(突起含まない)
使用温度範囲	-20℃~+60℃
充電温度範囲	0℃~+45℃
質量	138g(クリップ含む)

電話がかかってきたとき

本機がスマートフォンに接続されているときに次の動作をすることで、電話の応答/拒否をすることができます。ハウリングがおきますので音量を小さくして応答してください。

[専用アプリで通話していないとき]

・電話が着信したときに、本機の「電源」キーを押して応答できます。通話を終わるときも本機の「電源」キーを押します。

[専用アプリで通話しているとき]

・専用アプリでの通話中、本機の「電源」キーを押すと電話着信を拒否し、専用アプリでの通話を継続できます。

注意
・専用アプリでの通話中、スマートフォン側の応答ボタンをタップすると電話に応答できますがスマートフォンでの直接通話になります。通話を終了するときはスマートフォン側で操作するか、本機の「電源」キーを押します。但し、この操作をすると本機の通話ができなくなります。回復させるにはスマートフォンの設定でBluetooth接続をオフにして、改めてオンにした後でペアリング・BLE接続しなおしてください。

[推奨の設定]

・スマートフォンの設定で「常時Bluetoothイヤホンやマイクを使う」ように設定しておけば、上記の現象は起きません。設定方法はお使いのスマートフォンの説明書をお読みください。

参考 上記の現象は、スマートフォンが通話に最適な状態に自動設定することで起こります。異常ではありません。予め上記の設定をしてスマートフォンをお使いなら、上記の現象は起きません。

オプション一覧

□EDC-300 USB式ACアダプター(2A)
□EDC-300K 充電セット(EDS-38とEDC-300のセット)
□EDC-308R 連結充電スタンド(連結ケーブル付属)
□EME-58 耳かけ式イヤホン
□EME-60 カナル型イヤホン
□EDS-38 EDC-308R用DCケーブル

故障とお考えになる前に

「故障かな?」と思われたら、まず以下の処置をご確認ください。また、アクセサリーが原因の不具合もありますので必ず点検してください。

症状	原因	処置
●電源が入らない	バッテリーの消耗	充電する
	バッテリーの過放電保護回路が動作している	バッテリーを十分に充電してから電源を入れる
●ペアリングできない	ペアリングモードになっていない	ペアリングモードにする
	スマートフォンの設定が間違っている	スマートフォンのペアリング設定を確認する
	周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している	●他のBluetooth対応機器を停止させる ●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する ●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す
	周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している	
●イヤホンから音が出ない	音量が小さくなっている	「△」キーを押して音量を大きくする
	イヤホンプラグがはずれかけている	イヤホンジャックに正しくねじ込む
●通話が突然切れる ●ノイズが入る	スマートフォンとの距離が離れている	スマートフォンとの距離を近づける ※本機との通話範囲は約10mですが周辺環境などによって短くなる場合があります
	周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している	他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す
●専用アプリ使用時、本機の「PTT」キーを押しても送信されない	BLE接続ができていない	●専用アプリでBLE接続を行う ●ペアリングをした後、専用アプリでBLE接続を行う ●スマートフォン側で一旦接続を切断し、再接続をした後、BLE接続を行う
	周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している	●他のBluetooth対応機器を停止させる ●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する ●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す
●電源が入っているが操作しても動作しない	ー	強制終了ボタンをペン先などで押して、強制終了させてから電源を入れ直す
●接続できない ●再接続できない	周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している	以下処置をしたあと、「電源」キーを長押しして電源を入れ、自動接続する ●他のBluetooth対応機器を停止させる ●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する ●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す ●スマートフォンとの距離を近づける ※本機との通話範囲は約10mですが周辺環境などによって短くなる場合があります
	周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している	
	スマートフォンのBluetoothがオンになっていない	
	スマートフォンとの距離が離れている	

- 仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
- 本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。